

当事者B：自転車 中学生 男性

Bは、毎日通行する見通しの悪い交差点で左折しようとしてしました。交差点で、左折のために待機しているX車を発見しましたが、登校中で急いでいたため、X車の右側を安全確認もせず、そのままの速度ですり抜け、大回りで左折しました。その時、交差点の見通しが悪く、かつ左折待機のX車が邪魔になり、A車は見えませんでした。大回りで交差点に進入した時、対向車線を走行してきたA車に気がつき、ブレーキを掛けましたが、間に合わず衝突してしまいました。

また、Bは、ただでさえ見通しの悪い交差点に左折待機車が止まっているにもかかわらず、安全確認もせずに飛び出すという無謀な行動をとるのは、大変危険な行為です。見通しの悪い交差点では、停止して安全確認を行う必要があります。左折待機車の右側を追い抜いて左折することは自分勝手な行動で、結果として道路右側を通行してしまったこともルール違反になります。